

ジュネーブにあるガット本部



「貧すれば鈍す」に倣うな

— treaty override の蔓延を憂う —

村井 正

国際的 direct 投資に伴い、多くの国際租税摩擦が発生している。投資相手国での内外企業の無差別課税ルールは常識に属し、二国間の租税条約で必ず定めることになっている。ところが、各国の財政事情が悪化すると、どうしても選挙権と無関係な外資系企業が課税強化の標的となりやすい。その結果、条約で約束した無差別課税ルールが完全に無視されてしまい、外資系企業だけを狙いうちとした国内税法が次々と制定されることになる。条約での約束を一方的に反古にしてしまうところから、これはトリイ・オーバーライド (treaty override) と呼ばれている。国内法よりも国際条約を尊重する我々の常識は完全に無視されてしまう。

アメリカの憲法は、条約と連邦法を同ランクに置き、しかも後法優位原則が妥当するから、条約を無視した国内法改正がアメリカ人の常識では決して違憲とならない。財政が良いた時代のアメリカであれば、その様な国際法違反をあえて選択することはなかった。ところが、このところアメリカは国際法違反という非難を受けながら、外資系企業への課税強化を止めようとしない。これまで条約尊重政策をとり続けてきたアメリカが、なぜトリイ・オーバーライド政策に転換したのであるか。最大の理由は、アメリカの財政赤字にあると思われるが、さすがの知者アメリカも「貧すれば鈍す」ことになってしまったのであろうか。アメリカ人も最近では、堂々と、国内法改正によって条約違反のおそれが生ずるというのであれば抵触する条約を改訂すればよく、しかもいちいち改訂交渉するのは面倒だから、条約の一括改訂の意味をこめて連邦議会が国内法を一方的に制定した方が手取り早いではないか、とすら主張する。

この論理でいけば、せっかく二国間で租税条約に合意しても、国内法改正によって二国間の約束は完全に形骸化してしまう。この様なトリイ・オーバーライドは、残念ながらアメリカのほかイギリス、カナダでも同様にみられるし、しかも我が国と同じ大陸法系のドイツですら、アングロサクソンに倣うという愚を犯している。ドイツは、アイルランドにある節税拠点ヘドイツ資金が大量流出してしまうことをおそれて、ある改正税法で「〇条の規定は租税条約によって影響を受けない」と一方的に宣言してしまったのである。資金流出防止という大義名分はわかっていても、これまた乱暴なオーバーライドではないか。

この様な各国の乱暴狼籍に対しては、当然のことながら、我が国も同様の対抗措置をとるべきであるという意見がある。だが、私はこの意見に反対である。我が国が正論をいわなければ、一体どの国がいうのか。我が国だけは「貧すれば鈍す」に倣うべきでない。

こうした国際課税の一種のアナーキーを打開するため、我が国はアメリカの課税による外資系企業叩きをガットの次のラウンドでとりあげるといふ提言をしているが、それは正しい。ここでは一国だけに固有の常識は通用しないからである。トリイ・オーバーライドに歯止めをかける唯一のフォーラムは、今やガットしか残されていないのであろうか。

(法学部教授)

HEADLINE

- 2 面 総合情報学部の開設認可
学生証がかわります
- 3 面 特集
「千里山キャンパスの充実」
- 4 面 バイミングム大学と協定
- 8 面

千里眼

恋愛小説に出てくるプロポーズの方法には二種類あることを発見した。一つは、相手の女性が自分にとって必要であることを訴えるもの。もう一つは、幸せにするとか大事にするとか訴えるもの。若い時期には前者を、年を重ねるに従って後者を用いるようになる。これは本からではなく、私の経験から。どちらの方が有効かは本を読む限りではわからない。小説の中ではどちらも有効だということになっている。しかし、現実はあるに甘くない。これも経験から▼このように、本を読んでいると思わぬ発見がある。海外を舞台にした小説を読んでいると、海外旅行をしている気分になる。金も暇もなく、乗り物にも弱者にはとてもありがたい▼しかし、良いことばかりではない。本の中に「若くて独身の教師は女子学生にもてる」と書いてあった。しかし私はもてない。なぜだろうと悩んでしまった。また、ダイエット中に空腹感を紛らすために小説を読んでいた。料理の話が出てきた。空腹感は二倍になった▼このような弊害もあるが、好きな作家の本が手元にあるのは楽しいものである。テレビの正月番組に飽きた方は本を開いてみてはどうだろうか。(K・I)

平成六年四月開設に向けて準備を進めてきた総合情報学部が、平成五年十二月二十一日に文部省から正式に認可された。

平成六年四月開設に向けて準備を進めてきた総合情報学部が、平成五年十二月二十一日に文部省から正式に認可された。

二月二十九日(土)まで願書受付

平成六年度に在学する二、四年次生で、共同生活に対して、積極的に関わる意志を持っている者、国際交流に関心のある者、北斗寮について、通学に困難な地域に在住している者、または住宅に欠乏して特に事情を有する者と

水情報

十二月五日(日)午後一時
大学院工学研究科長、
工学部就職主事から説
き及ぶ。

て、工学部三年次生の父母を対象に進路指導・就職説明会が開催された。

出席者数は八百五十一人に上り、就職と大学院進学の問題について、橋本昭一就職部長、田田武良工学部長、杉本孝一

午後一時より、会場学舎と号施し、各学科主任、大学院専攻及び就職担当の教員からに詳細な説明と懇話された。

私大総・学長共同声明

今年に大正十一年甲午の学徒出陣から立派な男子にあり、十二月一日私立大学総長・学長の共同声明が発表された。これは本学大西昭男学長らが発起人となつて、全四十九大学（二、百九十九大）の総長・学長に呼びかけ二百七十二大学総長・学長の賛同があつたものである。東京で記者会見し発表が行われた。

するべく、後一層の節約、^① 教育研究水準の維持向上、^② 合理化に依るに留る所存^③ があるが、財政は赤土基調が続くものかと予測される。このうち、^① 源を確保するため、毎年改定を予定しているため、平成六年度学部第一部、第二部の学費改定を次の平成五年度十月十六日の告示のとおり行^④ ことにしました。

この度の学費改定について皆さんのご理解を得たいと思^⑤ います。

平成五年度 二月十日
学友会人 関西大学

するべく、後一層の節約として、「教育研究水準の維持向上合理化」にためる所存ですが、財政は赤い基調が続くものと予測される。このうち学部第1部、第2部の学費改定を次の平成五年度十月十六日の告示のとおり行つておりました。

この度の学費改定について皆さんのご理解を得たいと思ふので、ここに申し上げます。

平成六年度学部第1部、第2部の学費に対する学費は、次年度の告示で決定いたします。

なお、この学費は、在学者を対象とするものでないことを念のため申し添えます。

平成五年十二月十日
学友会人 関西大学

経商合同学内ゼミ開く

ミナルが中心になって、一回「商合内内ゼミナール」大会が、真理の討究をテーマとして開催された。マは、学生主体で行われる討究であり、頭へのゼミ活動の契約の場の一となっていた。本年度は、今日第一「日曜館」大会および、記念講演はなかつた。大衆加ゼミの表と討究中心に構成された。本大会の運びは、いゆる分科方式であり、各部門のゼミナルが中心になって意識的であるのに、大い役

飛
翼

棋部が、団体戦では惜しくも二位となったものの、男

八月二十六日から十一月五
にかけて行われた関西六
大 準硬式野球秋季リーグ戦に
開催された第六十六回全
勝した。

十二月六日東京・代々
では岩田裕介（工四）が

大学卒業者（来年三月卒業
定者を含む）を対象に国が

[illegible]

情報学部が文部省の正
シオン教室、学生実
タジオ、マルチメデ

した。まず、文理総合型の学
部は、文理総合型の学
部を設け、理系部と文系部とに比べ多様な
科目を履修できるようにカリキュラムに配置
した。また、理系部・文系部・リテラシー
の教育内容を勘案し、次のよう
に決めた。また、文系部
の学費は、平成六年
度入学者に適用するものとす。
なごの最新メディア情報施設
を設置しています。
総合情報学部は平成六年度
入学者の募集につきましては
文理総合型の学部として
は、文理総合型の学部として
の教育内容を勘案し、次のよう
に決めた。また、文系部
の学費は、平成六年
度入学者に適用するものとす。

[illegible]

……留学生の日本事情見学会……

嵐山・長岡京



新学生証（磁気カード）

1. 本証および在籍確認票は常に携帯し、下記の場合これを提示しなければなりません。
 - ① 本学教職員の請求があった場合
 - ② 各種証明書の発行を申請する場合
 - ③ 退学定期券または学生割引乗車券を購入の際およびそれを利用して乗車割引係員の請求があった場合
2. 本証は他人に貸与し、または譲渡することはできない。
3. 本証を失ひ紛失または汚損したときは、直ちに所属学部事務室を通して発行所に届け出て再交付を受けること。
4. 本証は卒業、退学等によって学籍を失ったときは、直ちに所属学部事務室を通じて発行所に返さなければならない。

在籍確認票および通学定期乗車券発行控										
平成	6年度	学年	学籍番号	法	93-123					
在籍確認	氏名	関 大 太 郎								
情報処理センター利用者ID				AA30123						
住所	大阪府吹田市山手町2-5-3 山手マンション15号								学籍 発行 控	／
通学 区間	関大前		～	間	～	間	／	／	／	
通学 区間			～	間	～	間	／	／	／	
発行年度 印	発行年月日		通用期間		発行駅		記 事			

在籍確認票（裏面は発行控の継続欄）

密着科の院生協議会が主
大学院祭が、平成五年
機構としての国連に

で、十月四日に京都に帰った。航空工学の立場から話
教授の青田茂氏が、専ら
の進歩とこのテーマで、
の生による個人研究発表
の学術講演会と四十二
催された。大学院学
二日から三日間にわた
十一月は、宇宙飛行
字部教授が「宇宙飛行
学会は、十月三日前

講演された。
まず長年の研究成果を
す、科学技術の発展、国
際化社会の進展とその社会的
にも関心の高いテーマであっ
ただけに、大学院生をはじめ
多数の聴衆を集め、有意義な
講演会だった。

院生が日ごろの研究成果を
報告する公開発表者は十二
人にのぼり、昨年度より倍
も二〇％近い、盛況であ
た。工学研究科を脱した五

学生部長 高森

十二月三日(金)、本学は、大阪市東淀川区日守町に課外教育プラザの開設に関する取り組みについて、理事・教務部長・学生部長・学芸部長・生活部長・国際交流部長・各部部長・各センター長・各研究所長の出席のもと、開校式を行った。

開校式では、まず、大津北太郎さんからの挨拶があり、ならびに本校が設立されたことについて、校長先生からご挨拶があった。その後、大津北太郎さんから、本校の歴史と現状について、大津北太郎さんの講話があった。続いて、大津北太郎さんから、本校の将来について、大津北太郎さんの講話があった。最後に、大津北太郎さんから、本校の発展のために、大津北太郎さんの講話があった。

開校式には、大津北太郎さんをはじめ、関係者約五十名が参加した。開校式は、大津北太郎さんの講話で幕を閉じた。

大津北太郎さんは、本校の開校にあたって大変な苦労があったと語り、本校の発展のために、大津北太郎さんの講話があった。また、大津北太郎さんは、本校の発展のために、大津北太郎さんの講話があった。さらに、大津北太郎さんは、本校の発展のために、大津北太郎さんの講話があった。そして、大津北太郎さんは、本校の発展のために、大津北太郎さんの講話があった。最後に、大津北太郎さんは、本校の発展のために、大津北太郎さんの講話があった。

開校式は、大津北太郎さんの講話で幕を閉じた。大津北太郎さんは、本校の開校にあたって大変な苦労があったと語り、本校の発展のために、大津北太郎さんの講話があった。また、大津北太郎さんは、本校の発展のために、大津北太郎さんの講話があった。さらに、大津北太郎さんは、本校の発展のために、大津北太郎さんの講話があった。そして、大津北太郎さんは、本校の発展のために、大津北太郎さんの講話があった。最後に、大津北太郎さんは、本校の発展のために、大津北太郎さんの講話があった。

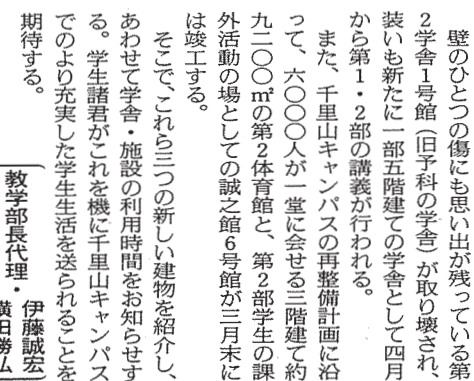
た仕事につくこと
これといった資本

[illegible]

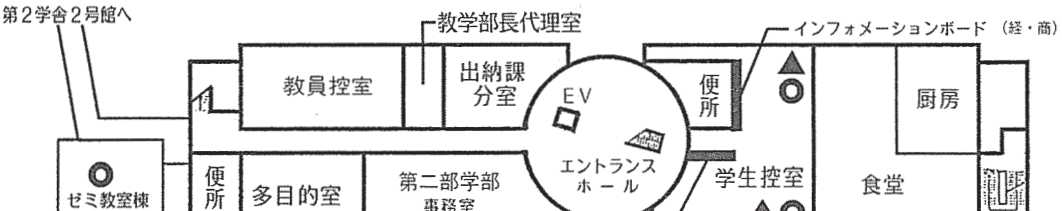
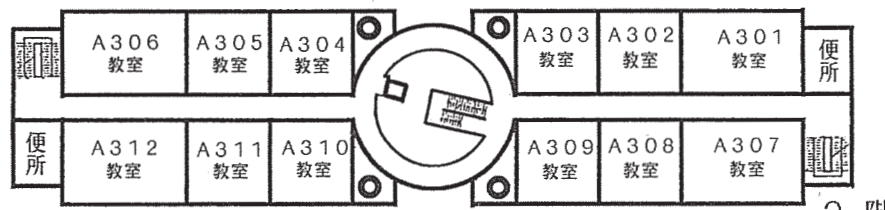
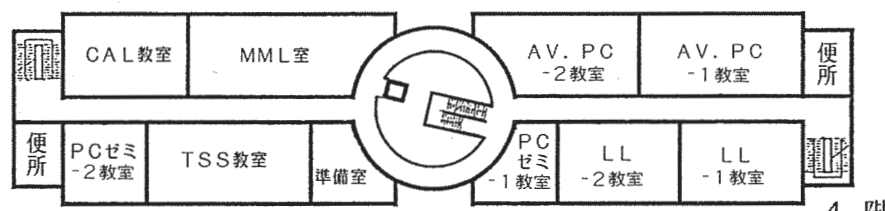
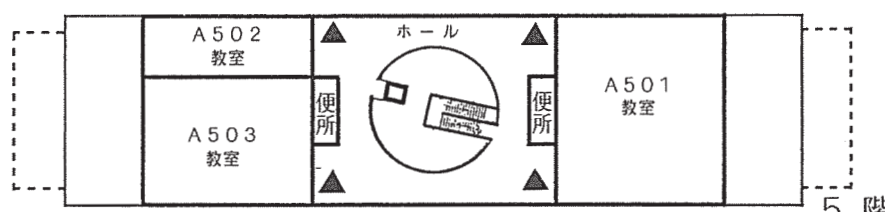
文学部

二月一日(水)の第
一講 閣内閣経済同友会常任幹事長、事務局長の萩原三吉氏に迎えて開催。日本
現状と雇用情勢と題
し、経済界のメカニズムを
現在、未来にわたつて
解説。就職の見通しは
明るい、が、バブル時
代に劣る方を見直さね
ばならないと言葉は、
経済界の発言として重
た。学生出席者多数

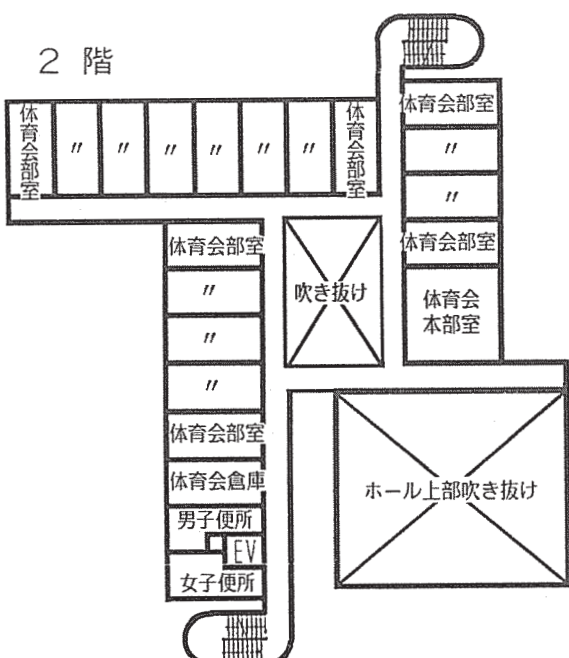
—第2部移転に伴い施設整備が進む—



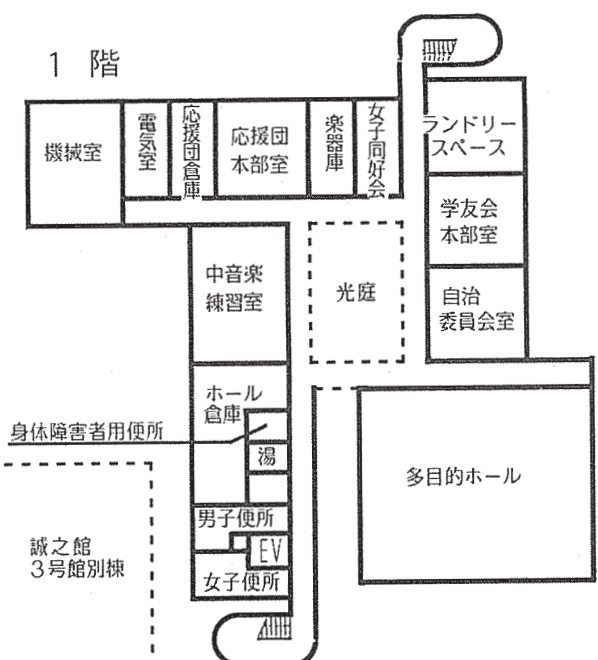
第2学舎新1号館平面图



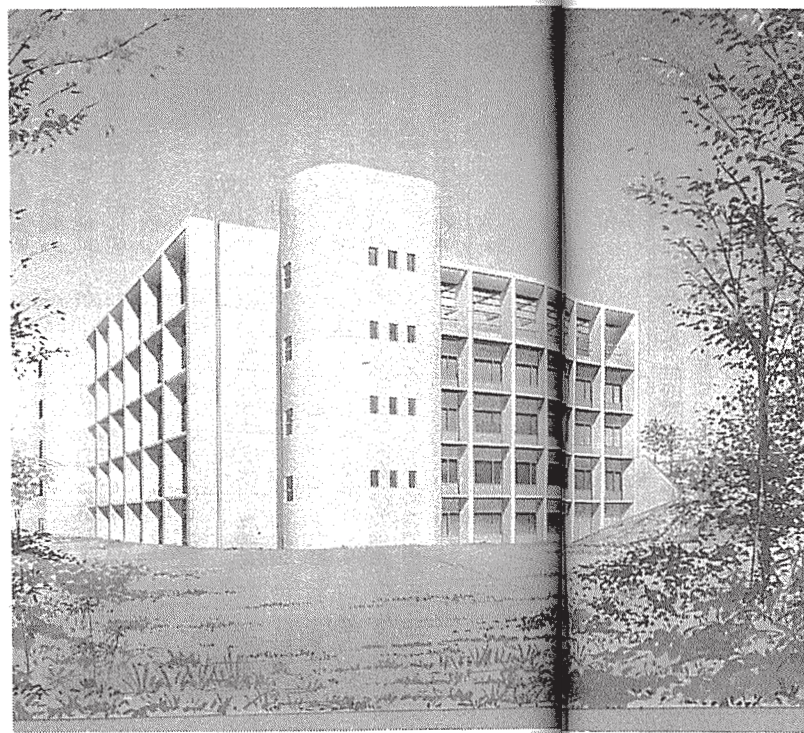
○ : ターミナルを示す
▲ : モニターテレビを示す



誠之館 6 号館平面図
(下図から左上へ)



誠之館 6 号館の完成予想図



誠之館 6 号館の完成予想図

「有鄰館」
伝統を継ぐ

天六学舎の学生会館「有鄰館」は、この度の移転に伴い

新学生会館は、天六学舎で長く呼び慣れた「有鄰館」の伝統とその精神を受け継ぎ、改めて「誠館・6号館（有鄰館）」と名付けられる。誠館5号館が凱風廬として親みをもつて呼ばれていたのと同様に、今後有鄰館と愛称が続くことと思われる。新しい学生会館館充分に用いて、課外活動の一層の充実と成果をもち、課外教育の内幕と意義を具現し、有意義な学園生活を送られたものである。

インターネットリジエント化

他学舎に先駆けて実現

第2学舎

新1号館

■新1号館について

平成7年度から第2部が千里山ギンパスへ移転するのに伴い、第2部の授業を原則的に第2学舎1・3号館で行

ビスの充実を図るよう1号館の建て替えを行い、新し

一部五階建て床延べ面積約八三〇㎡の学舎を三月下旬に

後の情報化、国際化に伴った大学の学舎に

この新しい建物は「学の実化」を標語

国際化に伴った大学の学舎に

竣工予定で工事を急いでい

く、インターネットリジエント化

■新1号館について
平成六年度から第2部が千里山キャンパスへ移転するのに伴い、第2部の授業を原則的に第2学舎1・3号館で行うために、教育環境と学生サ

館の充実に資するものとして、
一階の建て増しを行ない、新しく
一部五階建て、床延べ面積約4
300㎡の学舎を三月頃に竣工
し予てて工事を急いでいる。

この空間、シボル性、
教室の入退室の際には、Dカ

「学舎の新しい建物は、本学の
後の情報化、国際化及び開校
後の本学の学舎にふさわし
く、インテリゲンチヤ、ゆ
な

なお、四階の各教室用情報
処理センターの事務用デスク
コンピュータとオシノク

なお、四階の各教室は情報システムにかえて行うので留意されたい。

なお、この情報システムの利用方法は新年度の書類交付時に改めてお知らせする。

ジェント化

学舎に先駆けて実現

予定である。四階には情報処理教育等の充実を目的として、LL教室二室、CAL教室一室、PCセミ教室二室、AV・CC教室二室、TSS教室一室、その他LLとPCの自習室としてのMM一室を設けている。

予定である。四階に情報処理教育等の充実に目的として、ＬＣ教室、ＣＡＬ教室、一室、ＰＣ教室二室、ＡＶ・Ｐ教室二室、ＴＳＳ教室一室、その他ＬＣＰＣの自習室としてのＭＬ室一室を設けている。

階にターナー、２号館三階ホールと特設的には号館一階にもモーターレを設置する予定である。

従って、第１部経済学、商学部及び第２部学生諸へ情報伝達、これまでの掲示板からインフォメーション

設備の充実 にアクセスできるようにしている。

三階には少人数教育のための教室が十二教室あり、年次のほか学生サービス拡大のため、東側のゼミ教室棟一計画で全室にA/V装置を設置

さらに、三階ロビーにターミナル、五階ロビーにモニターテレビを設置し、掲示情報

二階は第一部経済・商学部 知するための「モニターテレビ」関係のフロアである。東側と必要情報を検索・照会できる「ターミナル」を設置する。

を図っている。学生控室には、1号館1階学生控室に休
掲示情報を伝達・表示するた
めの三種類メディア装置を
設置している。

講情報や臨時試験等のタイ
トルを表示する「インフォメ
ーションボード」、その内容を

この掲示情報を伝達・表示するためのメディア装置としての食堂を配備し、学生の便宜の悪い場となる学生控室と隣接して二〇時まで営業予定の食堂を配備し、学生の便宜

二つのブロックに分かれていた。一階の東側には、第二学部事務室、出納課分室、教員時試験、教室変更、休講呼

■学生控室、食堂は一階
建物は、中央の吹き抜けのエントランスホールを中心に、千両山キャンパスの他学舎に先駆けて、大学から学生への情報の伝達を円滑・効率化する

とくに、建物の中央部分は円筒の吹き抜けて、採光可能な天井を設け、シンボリックなものとしている。

第2学舎では、新学明から

ーブン性と自然環境との調和、学園の生活空間としての快適さと機能性を重視する理念に基づき設計されている。

産業革命発祥の地 バーミンガム

バーミンガムは、産業革命発祥の地としてよく知られる。現在、人口九十九万の運河に囲まれた美しい、イギリス第二の都市である。そのバーミンガムの中心街、ニューストリートから、南西に約四キロのところにバーミンガム大学がある。広々とした緑豊かな、落ち着いた環境の大学だ。

七学部・七研究所をもつ名門校

バーミンガム大学には、七つの学部がある。すなわち人文学部、商学・社会学部、教育学・生涯教育学部、工学部、法学部、医歯学部、理学部。また世界有数の「ロシア・東欧研究所」をはじめ七つの研究所をもち、学生数は一万二千五百。さらに二千人の大

ども、「ユニバーシティ」という国鉄の駅名は、わがバーミンガム大学だけだ。創立は一九〇〇年というから、イギリス史上、最も「栄光ある時代」と称されたウィクトリア女王の最晩年、その死の前年につくられた。イングラント中央部の名門大学である。

そのために、バーミンガム大学では、すでに工学部に日本語クラスを設け、日本語の読み書き話せる人材を、養成しようとしているのだ。

協賛関係の発展

イギリス第二の大都市を代表するバーミンガム大学と、日本第二の産業都市大阪にある本学とは、その規模と立地条件からいって、なにか似かよったものを感じさせる。三年まえの一九九一年二月、わが関西大学は当時四十八あったイギリスの大学の中から、とくにこのバーミンガム大学に、バーミンガム大学から四人の訪問客があった。

昨年十一月十二日の午前十一時、イチョウ並木の美しい関西大学に、バーミンガム大学から四人の訪問客があった。サ・マイケル・トンブソン学長夫妻、副学長のアイブス教授、そしてワトソン国際交流局長である。学長一行は「学生交換協定」を締結するため、わざわざ関西大学を訪れたのだ。

昨年十一月十二日バーミンガム大学のトンブソン学長と、長・G.S. ジョーンズ副学長、上田唯一国際交流主事、羽原敬二国際交流主事及び小西靖洋国際交流センター事務長が同席した。

両大学間には、既に一九九一年(平成三年)に「国際交流に関する基本協定」が締結されており、その中に研究者、学生、学術情報、定期刊行物及び共同研究に関する交流の形態が記載されている。これ

が理解できることは大切な要素となつてきている。より高度な日本語能力と日本の文化や習慣を修得することが、彼らの可能性を大きく切り開くことになっている。

本学の学生にとっては、本場の英語を、ヨーロッパの文化や歴史は勿論のこと、国際学としての感覚や異文化を学ぶ機会が得られる。これは、二年前から工学部において日本語科目が開講された。

いままバーミンガム市の周辺に約七十社にのぼる日本企業がある。就職に際し、日本語が理解できることは大切な要素となつてきている。より高度な日本語能力と日本の文化や習慣を修得することが、彼らの可能性を大きく切り開くことになっている。

バーミンガム大学とも締結

第七番目の学生交換協定

国際交流センター所長 河田 悌一

されている。

学生を対象としては、九一年からすでに三年にわたって、一か月間の「バーミンガム大学夏期英語セミナー」を実施してきた。

このセミナーは、バーミンガム大学から送られてくる「英語テスト」を受験し、合格ラインに達した三十人の学生のみを参加させるという、かなり程度の高い英語研修である。

昨年夏、私は約三週間、学生諸君とその研修に参加、寝食行動を共にしてきた(毎日新聞一九九三年九月三十日付夕刊参照)。

専任教員のジョナサン・リース講師を中心に、多くのバーミンガム大学の教職員の尽力でなされるこの語学研修

百周年記念会館の会議室で、河田所長とトンブソン学長と、英国紳士という言葉がふさわしいトンブソン学長とは、十一年からなる日本語と英語二通の「関西大学とバーミンガム大学間の学生交換計画」にサインした。これにより、今年九月以降、双方の大学は毎年二人(もしくはその同等数の学生を留学生として派遣しあうことが約束された。

この協定の調印は、もちろん本学の望んでいたものだった。が、それにも増して、バーミンガム大学の熱い希望が込められていた。

今回の「学生交換協定」締結によって、両校の交流が一層深まると同時に、多くの学生諸君が歴史あるバーミンガムのでんで学んで欲しい、と思うのは、私ひとりだけではない。

調印のあと握手するトンブソン、大西両学長



七月三十日の午後二時に成田を飛び立った私は、七月三十日午後六時三十分、ロンドン、ヒースロー空港に到着した。「入国審査の時からの英語研修が始まっている」との英語研修センターの事務長の言葉に、胸をドキドキさせ、私は審査官の前に進み出た。だが私に発せられた言葉は、なんと、「ナンニチヤ」という日本語だったのだ。その日はロンドンで一泊し翌日めざしたのは、バーミンガム初めM.T.Bに乗る(カレンダーにて)

私の語学セミナーはロンドンのホテルでのある出来事から始まった。こちらの不注意で朝食を時間外に運ばせることになり、フロントの女性からならまれるという羽目に陥ったのだ。英語が聞きとれず絶望的になった。

そんな出来事から一か月、色々な体験をさせてもらった。今ではホテルでの一件はなつかしい笑い話である。セミナー中、イギリスの様々な文化に触れることができた。とりわけスタッフの方に頼みこんでチケットを手に入れた。

人生の師匠ともいえるフィル先生とともに

新たな夢への一歩

久世 真由子

人やお店の人がインタビューをし、それを録音、教室でテープを聞きながら内容を書き留めるといったものだった。英語ではなしかけ、相手の言っていることを理解しなければならなかった。インタと呼んでいる国は「ブリテン」

入れてもらった本場のプロサッカー観戦は忘れられない。関西のギャグとは違い、やはり英語が聞きとれないこと。こちらの意思はなんとか伝わるのだが、相手の意思は私にクラスで人生の師匠と

わが人生の師匠

三井 建史

がつかぬ。となると、コもいえる人物に出会った。担任のフィル先生である。非常に流暢な英語で驚かせた。すばらしい先生と英語を心から学ばせようとするきつかけをくれた。今回のバーミンガム大学夏期英語セミナーに、心から感謝している。

最初、私にとっての英語学習は資格をとるためといった技術的なものでしかなかった。だが今回のセミナーは英語に対する私の考えを一八〇度変えてくれた。現在の私にとって英語とは、外国の友達とコミュニケーションするための一つの方法となった。帰国後も先生とは手紙の交流を続けているが、次回会うときは流暢な英語で驚かせたい。

夏期英語セミナーに参加して



私の語学セミナーはロンドンのホテルでのある出来事から始まった。こちらの不注意で朝食を時間外に運ばせることになり、フロントの女性からならまれるという羽目に陥ったのだ。英語が聞きとれず絶望的になった。

そんな出来事から一か月、色々な体験をさせてもらった。今ではホテルでの一件はなつかしい笑い話である。セミナー中、イギリスの様々な文化に触れることができた。とりわけスタッフの方に頼みこんでチケットを手に入れた。

人生の師匠ともいえるフィル先生とともに

わが人生の師匠